



千頭で生まれ育った私ですが、実はここで働き始めるまでは、一度も「エンジン」に乗ったことがありませんでした。初めて車窓から景色を見たとき「こんなに面白い所が地元にあったんだ」という新鮮さを感じたことを覚えています。

「エンジン」がいかに険しい地形を走っているかということは、運転士として肌で感じています。そのこともあり、運休中は「本当に元通りに復旧できるだろうか」という不安も正直ありました。それでも、お客さまからは「楽しみに待っているから、頑張るね」と温かい励ましの言葉をいただくこともあり、再び井川駅まで運転できる日を心待ちにしていました。

私がおすす<sup>ひとえ</sup>めする景色は、井川ダム付近で見える「山の十二単」。山々の尾根が何層にも重なっている様子は絶景です。まだ乗車経験のない町民の方も、この機会にぜひご乗車いただければ幸いです。きっと初めて乗車した時の私と同じように、感動いただけると思います。

ここにしかない絶景へ  
皆さんをお連れします。

かわね りょうごく  
**川根両国**  
KAWANE RIYOUGOKU  
せんず | さわま

南アルプスあぶとライン  
松葉 伸行 運転士  
(千頭西区)



## く人たち

「エンジン」の往来を待ち望んでいた皆さんに、「これまでの気持ち」「これからの思い」を聞きました。

初めて乗車した高校生の時、のんびりとした空気感と沿線に住む皆さんの気さくな人柄にふれて、あぶとラインのファンになりました。

そして7年前には、奥大井湖上駅で結婚式を挙げさせていただきました。多くの方が線路脇から手を振ってくれ、沿線各地で皆さんから祝福を受けた感動を、忘れることはありません。

今でも、あぶとラインに乗車するために、月に2回は川根本町を訪れています。まだ子どもが小さいのでアプト式区間のみの乗車が多いですが、最近では下の子ども鉄道に興味を持ち始めてくれて、うれしく感じます。

子どもたちがもう少し大きくなったら、ぜひ井川駅まで家族で出掛けたいですね。



のどかな鉄道と気さくな人柄の皆さんに、  
これからも家族みんなで行きまます。



藤枝市在住  
石神 文隆 さん  
香織 さん  
佑菜 ちゃん  
夏哉 くん



地域の宝を守るために  
一緒にサポートしていきませんか？

大井川流域  
鉄道サポーターズクラブ  
生田 八朗 会長  
(千頭東区)

大井川流域のシンボルともいえる鉄道を側面から支援できればと、ちょうどあぶとラインが一部不通となった時と同じ時期に、「大井川流域鉄道サポーターズクラブ」を設立しました。

この2年半の間は、特に沿線住民や全国の鉄道ファンと大井川鐵道の橋渡し役になれたらと、「大鉄新社長と語る会」の開催や会員による提言の取りまとめなどに取り組んできました。これからは、植栽活動によって景観を高めたり、鉄道の魅力を流域内外に発信したりといった支援活動もしていきたいと思います。

また、今までの活動対象は鉄道本線が中心でしたが、今回の復旧を機に、これからはあぶとラインについても積極的に関わっていきたいと思っています。先日、さっそく会員の有志で改めて乗車してみました。実にユニークな路線だと再認識しました。植栽にしても情報発信にしても・・・まずは車窓から見える景色を知らなければ始まりませんからね。

interview

「エンジン」を取り巻



川根本町の皆さんも、ぜひ遊びに来てください！



旅館「峯屋」  
長島 百代 さん  
孫の愛都くん  
(静岡市葵区井川)

川根本町から井川地区の旅館に嫁ぎ、今は女将として井川の観光業に携わっています。

まだ子どもが小さかった頃は、「エンジン」に乗って小長井区の実家に帰省したり、逆に母が井川まで遊びに来てくれたりしました。井川の人たちも、よく千頭駅前の商店まで買い物に出掛けていたようです。

ここ数年の井川観光の定番といえば、井川駅で降りたお客さんがその足で井川湖の渡船を楽しむというものでしたが、あぶとラインが運休となっていた2年半の間はその流れも途絶えてしまい、とても寂しい思いをしました。

復旧を契機に井川へ観光客を呼び込みたいところですが、何しろ小さな集落ですので、人手不足を痛感しています。その点では、川根本町から井川までの沿線全域をひとつのエリアとして、お互いの地域の魅力を取り入れた観光プログラムを一緒につくることができれば良いのでは、と思っています。